

正行 不発書 郵便 証明

元上司「指示していない」

村木被告公判 議員の依頼も否定

障害者団体向け郵便料 部長。

金割引制度の悪用事件 検査側は冒頭陳述などで、虚偽有印公文書作成で、元部長は2004年罪などに問われた元厚生労働省局長、村木厚子被告(54)―休職中―の公判が8日、大阪地裁であった。同被告に「議員案件だ」と制度利用に必要な証明書発行を指示したとされる当時の上司(58)が「議員の依頼はなく、村木被告に指示もしていない」などと証言し、検査側の主張を否定した。

元部長は2004年2月下旬、民主党の石井一参院議員(当時は衆院議員)から、自称障害者団体「凜(りん)の会」を出すよう電話で依頼されたと主張。その後、村木被告に「議員案件だ」などと証明書の発行を指示したとしている。

だが、今思えば自分の思が後になって考えると、い込みだった。村木被告、そもそも(検査側の構図への指示も)記憶はないが、壮大な虚構だったの

ではないか」と述べた。村木被告は逮捕から一貫して「団体のことも証明書のことも知らない」と無罪を主張。「凜の会」の設立者の倉沢邦夫被告(74)は同公判などで「村木被告から証明書を直接手渡しで受け取った」と証言している。

元部長は8日の公判で全面的に否定。石井議員の要請について「(捜査段階では)電話を受けたと供述し、調書に署名し

課長だった当時の同部の